

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1471001022
法人名	有限会社 梨の実
事業所名	梨雲ハウス平戸
訪問調査日	2019年2月25日
評価確定日	2019年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 30 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471001022	事業の開始年月日	平成16年1月15日	
		指定年月日		
法人名	有限会社 梨の実			
事業所名	梨雲ハウス平戸			
所在地	(244-0803) 神奈川県横浜市戸塚区平戸町1156-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成31年2月11日	評価結果 市町村受理日	令和1年6月28日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・勤続年数の長い職員が多いです。利用者・家族の方々にとって、馴染みの関係を提供し、安心していただけることに努めています。
- ・職員にとって、仕事と家庭を両立させやすい職場です。
- ・利用者の個別の対応を心がけています。皆さんの言葉に耳を傾け、出来る事、出来ないことを話し合い伝えることを心がけ、良い関係を構築するよう努めています。
- ・畑に作物を耕作し、四季折々の野菜等の収穫を利用者と共に楽しんでいます。
- ・日頃より、経営者が関わることで介護者の思い、やりたい事が実現しやすい現場です。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成31年2月25日	評価機関 評価決定日	平成31年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

- 梨雲ハウス平戸は有限会社梨の実の経営であり、グループホーム創成期の高齢者の共同生活に対する夢やポリシーを今に伝える数少ないグループホームの1つです。地域の認知症の高齢者が、一人では出来ない食事の買い物と一緒にいき、一緒に食事を作る、そんな「普通の生活」を継続して実現しています。残念ながら、利用者の認知症の進行と、ADLの低下が著しい中で買い物に行ける方が少なくなっていますが、初期の夢を維持し、継続して実施していることは称賛に価することであり、法人の運営方針に賛同した人達が梨雲ハウス平戸の応援団として「ひよどりの会」や「梨の実塾」に集い、大きな夢の集団を形成しています。集う会等の思い・活力が業界、市民へと啓蒙されることが期待されます。また、開所から15年、「地域・人」との関わりを大切にしながら暮らしていくグループホーム作りへの代表者、管理者、ケアマネの思いは、利用者、ご家族、地域に伝わり、共に培われています。
- 立地は「JR東戸塚」からバスで5分程、国道1号線沿いのバス停から徒歩3分の利便性の良い場所に位置し、隣には竹林があり、裏庭では職員が地元農家の方から指導を受けながら野菜や果樹が栽培し、収穫を利用者と共に行い、食卓に並べる等、季節を感じる生活を提供しています。
- 平成19年発足された「ひよどりの会」は、退去後の家族、元職員、現職員が任意で集まり、食事会やツアー、親睦会等を行い、「梨の実塾」では4ヶ月に1回程度のペースで勉強会を開催しています。勉強会では、事前にアンケートを実施し、回答が多かったテーマを取り上げ、講師を招いて実施する等、梨雲ハウス平戸及びその応援団の教育の柱の1つになっています。職員だけでなく家族や地域の方の参加も増えてきており、代表者は、家族や地域の方々との関わりを大切にコミュニティ作りを目指して尽力しています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	豊水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> 「理念」は、事務所とヘルパールームの見やすいところに掲示し、管理者、職員で共有、実践出来る様に努めています。 自然豊かな裏の畑で四季折々な野菜「ふき、たらの芽、茄子、ピーマン、みかん」等々を耕作しています。利用者様だけでなくご家族や近隣の方々にも行事の際に召し上がって頂いています。 	開設時に作成した「梨の実の理念」をフロアと事務所に掲示し、職員に周知しています。理念は代表の想いに沿って作成された「利用者が過ごしてきた生活体験を大切に、自分らしく生きるための環境と家庭的な雰囲気の中でゆとりと生きがいの提供」です。ユニットごとに理念に沿ったカラーを作り上げることで、理念の共有と実践につなげています。理念の本質は現職員を含む退去後の家族、元職員で構成されている「ひよどりの会」のメンバーにも浸透しています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティアに支えられ畑の作物の指導を頂いています。 四季折々の野菜や果実を収穫しています。 近隣の果樹園で梨狩り、地域開催の「平戸吊るし雛や、地域の伝統芸能である「獅子舞」等々を楽しませて頂いています。 地域の防災訓練に参加しています。 	「地域・人」との関わりを大切にし、地域のボランティアに支えられ、畑の作物の指導を頂き、裏の畑ではフキ、たらの芽、茄子、ピーマン、みかん等々を耕作し、利用者だけでなくご家族や近隣の方々にも行事の際に振る舞っています。定着している「梨雲祭」には地域の方を招き、定番の料理、バザー等で楽しんでもらっています。秋の「秋刀魚の会」も開催し、地域の方々と交流を深めています。ボランティアではサックス演奏、お茶、クラフト、コーラスに來訪いただき、地域の中学生の体験学習も受け入れています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の方々が施設のお祭りに参加して頂いています。地域の老人会の皆様が月に一度訪問をうけGHの生活の様子を見ていただき理解をして頂いています。又、地域の中学校(2校)から毎年「職業体験習」を受け入れています。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 年6回開催しています。 常に新しいご家族にも参加を呼びかけています。 災害時のサポート等のお話もしています。 	運営推進会議は年6回開催しており、メンバーの自治会長、包括支援センター職員、民生委員、ご家族(6~7人)の参加を得、常に新しいご家族にも参加を呼びかけています。ホームの現状報告、災害時における協力体制、地域の行事等について話し合いを行っています。助言等は運営に活かしています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者の相談等、区の担当の方々と連携しています。特に医療分野についてはGHの生活の実情を伝えながら、安心して生活出来るよう連絡を密にした取り組みに努めています。 地域包括支援センター等での集まりに参加しサービスの情報交換をしています。 	生活保護受給者の受け入れを行っている関係で、戸塚区の生活支援課とは必要に応じて連絡を取り合っています。特に、医療分野についてはGHの生活の実情を伝えながら、安心して生活出来るよう連絡を密にした取り組みに努めています。地域包括支援センター主催のケアマネサロンにも参加し、情報交換を行っています。グループホーム連絡会に加入し、講習会や研修会に参加しています。また、戸塚区、横浜市の集まりや講習会にも参加し、連携を図っています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・「身体拘束をしないケア」をしています。転倒や無断外出、外泊の危険に対しては、会議や職員間で話し合い、知恵を出し少しでも安全安心して生活出来る様に心掛けています。出入り口は施錠していますが、いつでも出れる様に職員は鍵を携帯しています。玄関外に「人感センサー」を設置して、気が付かない内に外出される入居者に対して試験的に行っています。	「身体拘束を行わないケア」を徹底し、転倒や無断外出、外泊の危険に対して職員間で話し合い、知恵を出し合い、少しでも利用者が安全・安心して生活出来るように心掛けています。また出入り口は施錠していますが、いつでも外に出られるよう職員は常に鍵を携帯しています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・入浴や清拭時に身体の変化(あざ、傷)がないか観察しています。変化があった時には、その場で職員で話し合いで原因を探ります。 ・言葉の暴力については、フロア会議などで常に話し合い、全員の意識の向上に努めています。(スピーチロックの勉強会も行いました)		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・成年後見人制度(司法書士・弁護士)を活用されている利用者が複数名いらっしゃいます。後見人の方と接する事で、金銭管理、入院手続き又は、ホームで生活する上で様々な事について相談しながら利用者の支援をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・重要事項説明書、利用契約書を全て説明しホームでの生活を理解していただきながらご家族の不安、疑問、要望等を伺う様、努めています。 ・一人ひとりに見合った対応を心掛けています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・契約時に内部、外部の苦情相談窓口について説明しています。又、玄関に連絡窓口の記載されたものを掲示しています。 ・ご家族の面会時やケアプラン面談等、又は運営推進会議でお話しをする時間を頂きながら、随時職員に伝える事を心掛けています。	契約時に、苦情相談窓口について説明を行うと共に、玄関に受付相談窓口の連絡先を掲示して意見等が述べられるようにしています。家族からの意見や要望については、面会時やケアプラン更新時に直接聞くようにしています。毎月のお便りでは、1ヶ月の生活の様子や行事報告を写真入りでわかりやすく伝え、ご家族に近況報告をしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のフロア会議、毎日の申し送り、朝礼にて職員の意見や要望を伝える場を設けております。 ・日頃より代表者、管理者、主任からの声掛けを心掛け、職員の思いを汲み取る様努めています。 ・職員が参加できる「掲示板」を活用しています。 	<p>職員からの意見や要望については、基本的には業務の中や申し送り等で聞いています。また、職員間で確実に情報を共有するために「掲示板」を作成し、情報の伝達漏れを防ぐ取り組みも行っています。「掲示板」では、パソコンとスマホでの情報共有を図り、職員のシフトを考慮して有効活用を図っています。管理者は、職員が「家庭と仕事」を両立して働けるよう勤務形態を考慮する等、職場環境の整備に力を入れ、働きやすい職場作りに努めています。ご家族には運営推進会議（年6回）、各種行事、バザー等、機会あるごとに意見を聞いています。</p>	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員のライフスタイルを考慮し、無理せず、安心して気持ちよく仕事が出来様に職場環境作りに取り組んでいます。 ・やりがいの向上心を持って働ける様に日々の仕事についての思いや悩みを伺っています。 		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の研修会として「梨の実塾」を開催しております。（年2、3回） ・計画作成担当者により、ケアプラン作成の勉強会を少数人で行い、プランの立て方、要望など実践しています。 ・初めての介護の仕事についての職員には、1対1で丁寧に指導するなど内部研修を行っています。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の他事業所の行事に参加し代表者、管理者、職員との交流を心掛けサービスの向上に努めています。 ・地域包括支援センターでの「ケアマネサロン」に参加し、事例検討の勉強会等には、希望者を募り参加しています。 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前にご家族・ご本人と面会しこれまでの生活や環境、要望をお聞きしています。 ・GHの生活の様子を詳しく説明し、実際に見学して頂き、不安な事のないように努めています。 ・新しい環境に気持ちよく慣れて頂ける様にゆっくり時間をかけてご本人とお話する時間を作っております。 	0	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の思いを十分に引き出す事を心掛けております。新しい関係作りなので、不安、悩み、希望をゆっくりご家族からの声を聞く事が出来る様に心掛けています。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ご入居時、その後1ヵ月を目安に、GHでの生活の様子をご家族に報告しています。 利用者、ご家族の要望に合っているのかなど確認しより良いサービスの提供に努めています。 他のサービス利用についても提案・支援をしております。 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> 少しの時間でもゆっくり話す時間を作り、昔話を話して下さったり、今の気持ちを聞かせて頂いたり、楽しい会話も一緒に楽しませて頂いています。 利用者がやってみたい事、職員とやってみたい事等に意思疎通に努め、共に暮らす関係の構築に努めています。 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ご都合の付く日は、面会に来て頂いています。外出・外泊・旅行等のご希望有る方にはご家族との大切な時間を過ごして頂いています。 年に数回、ご家族と旅行を楽しまれたり、毎週ご家族と娘様宅に帰り昼食や買い物を楽しまれたりします。 ボランティアとして手品、音楽会又はホームの行事などにお手伝いして頂き、ご本人を支える関係を築いています。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ご家族、親戚、知人との面会、外出は自由にして頂いています。年賀状・暑中見舞等、その時期に合ったハガキを郵送しています。 週末には娘様と外出され自宅ですごされる方もいます。 	<p>ご家族、親戚、知人との来訪は制限を設けず、気軽に来訪しやすい雰囲気作りを心がけています。知人の面会や昔の隣近所の方が来訪された際は、笑顔で出迎え、積極的に話しかけ、職員との関係を構築することで「また来たい」と思ってもらえるよう支援しています。職員は、レクで作成した絵葉書の記入や、ハガキの投函等を手伝い、訪問美容やボランティアで事業所に来てくださっている方々とも馴染みの関係となり、利用者へ還元できるよう努めています。毎年、年賀状・暑中見舞等、季節のハガキを郵送するよう継続して支援しています。</p>	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士の交流が図れるように、アクティビティに参加して頂ける様に声掛けを行っています。 ・利用者間の関係性の把握に努めています。職員が間に入り、良好な関係を築くことが出来る様に支援しています。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・退居された利用者様、ご家族とのご縁が続くようにご希望の方には、「ひよどりの会」に入会して頂いています。 ・ご家族が退居された後にご自分の得意なコーラスや手品などでボランティアとして関わっているご家族もいらっしゃいます。 ・バザーや新年会、梨の実塾等にお誘いしたり、定期的に会報を送りコミュニケーションを図っております。 		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で利用者様との会話の中から、ご要望や希望を汲み取るように心掛けています。 ・年に2回ほど、ご家族と温泉旅行に出かけられる方もいらっしゃいます。日常生活の様子を報告し安心して出かけられるように努めています。 ・ケアプランの時には、可能の方はご本人を含め、ご家族からお話を伺いどのような生活を送りたいかご希望をお聞きしています。 	<p>事業所では「小さくても出来ることを続けていくことの大切さ」を方針に掲げています。ケアプランの時には、可能の方は利用者本人を含め、ご家族からお話を伺い、どのような生活を送りたいかの希望を聞いて反映させています。日々の生活を通して利用者との会話から、要望や希望を汲み取るように心掛けています。家族からの情報のみならず、様々な働きかけによって家族も知らなかった情報の発見につながることもあります。本人の要望や意向は、極力叶えられるようにケアプランにも盛り込み、実施するようにしています。</p>	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご入居前にご家族とアセスメントを実施し、利用者の今迄の生活環境、家族関係や趣味等の情報を頂いています。又、その情報をいつまで確認できるようにし、職員が周知出来る様努めています。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の申し送りで、食事、睡眠、排泄、心身状態等の情報交換を共有しています。 ・TV鑑賞の好きな方は、毎朝、新聞で番組表をみて居る方など思い思いの生活を送っています。 ・変化がある利用者様には体調管理ノートで把握しています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ご家族とは、定期的話し合い、医師や歯科医師、理学療法士からの情報を基にご利用者様の変化に合わせて介助方法を検討し、介護計画を作成しています。	入居時のアセスメントで、これまでの生活歴や趣味嗜好を伺い、暫定のケアプランを策定しています。その後は、日々のモニタリングで、ケース記録、夜間用情報交換ノート、体調管理ノート等の細く記録している情報や、職員の気づきを基に計画作成担当者が原案を作成しています。原案は各ユニットに置かれ、職員が自由に意見や気づきが記入できるようにし、フロア会議で意見をまとめ、現状に即したケアプランを作成しています。ご家族とは、定期的話し合い、医師や歯科医師、理学療法士からの情報を基に利用者の変化に合わせて介助方法を検討しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の様子は、介護日誌、ケースに記録しています。体調の変化時には個別に体調管理ノートに記録しご利用者様の様子を職員に周知するようにします。全ての情報を基に介護計画の見直しに活かしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・訪問リハビリを希望される方に、「理学療法士」に依頼しています。又、他施設で生活している娘様とその職員、成年後見人と連携し、今後の生活について主治医に相談しています。 ・体調変化に応じて必要な時はご家族と話し合い今後の対応について決めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域のボランティアの方に定期的に訪問して頂き、楽しまれています。(訪問カット・お茶会・ハンドマッサージ等) ・地域の方を通して梨狩り・耕作など交流に努めています。 ・以前にも増して様々な方にボランティアをお願いし来て頂いています。(マジック・クラフト・音楽会等)		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・利用者のかかりつけ医との関係を継続し良好な関係を保っています。 ・ご家族とも連携をとりながら、状況によって職員と同行し、日常の様子を報告したり相談したりしています。 ・利用者の状況を考えた上でかかりつけ医と相談し往診して頂くなど常に主治医、ご家族と連携をとりながら対応をしています。	入居時にかかりつけ医の有無を確認し、かかりつけ医の主治医がいる場合は従来通りかかりつけ医との関係を継続し、相談して往診して頂くなど常に主治医、ご家族と連携をとりながら対応をしています。良好な関係を保っています。家族対応での通院または往診が可能ないように継続の協力をお願いしています。難しい場合は事業所の近隣のクリニックを紹介しています。歯科医は希望される方のみ往診を受けています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・看護職員は配属されていません。 ・訪問看護を利用されている時は、情報の共有を努めて不安な事などを相談し連携を心がけています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院された時は、その方に合った対応をして頂ける様、情報提供をしています。 ・退院時は、その後、GHとして何が出来るかを考え関係者と相談しながら利用者が安心して退院できるよう努めていきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・利用者(ご本人)・ご家族・後見人の方に希望を伺い主治医との相談で今後の生活について話し合いを重ね安心して頂ける様努めています。 ・住み慣れたGHで最期を迎えさせてほしいというご家族が増えていきます。 ・主治医、介護職員(日勤者・夜勤者)と連携してご希望に沿える様に努めています。	契約時に家族及び利用者の希望を伺い、重度化した際に、事業所で出来る事・出来ない事を説明しています。入所時には特にターミナルの希望を聞くことをせず、重度化した場合は主治医と相談しながらグループホームで生活を継続することが可能か否かについて三者で話し合いを重ねています。近年では事業所で終末期を迎えたいとの要望も増えてきているので、主治医、介護職員(日勤者・夜勤者)と連携して希望に沿えるように努めています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・日中、夜間共に急変の際に備えて「事故時・急変時のマニュアル」を各フロアにおいてあります。 ・介護計画書に緊急時の連絡先を記載しすぐめがつくところに掲示しています。 ・消防署の職員により応急手当や緊急時の対応について学んでいます。 ・夜間は急変時担当者を決めすぐに対応が出来る様になっています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・消防署との防災訓練だけでなく、自ら訓練を行う事で、火災や災害時の対応を身につける事に努めています。 ・備蓄倉庫を設置し、災害時での対応に備えています。 ・地域の防災訓練に参加して、地域との関係性が築けるように努めます。 ・運営推進会議には、町内会長が参加されるので地域と協力体制をとれる様、相談・助言を頂いています。	年2回、様々な想定した防災訓練を実施しています。消防署との防災訓練だけでなく、自ら訓練を行う事で火災や災害時の対応を身につける事に努めています。この地では過去に平戸川の氾濫が起こったこともあるため、消防と話し合いながら水害時におけるマニュアルの作成を検討しています。また、東日本大震災以降、裏庭に備蓄倉庫を設置し、発電機、水、テント、リアカー、米、炭、衛生用品等も準備しています。地域の防災訓練にも参加し、地域との関係性が築けるように努めます。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・言葉遣いや対応について、会議、申し送り、朝礼等で話し合い、お互いが確認し合えるよう努めています。又、一人ひとりの生活歴を意識し敬意を持って接する事で誇りとプライバシーを守る努力をしています。	毎月のフロア会議の中で定期的に「接遇」を上げ、言葉遣いや対応について話し合い、職員間で確認し合えるよう努めています。また、一人ひとりの生活歴を意識し、敬意を持って接する事で、ご本人の誇りとプライバシーを守るよう努めています。ケアや会話の中で利用者の人格やプライバシーを損ねるような言葉かけや対応がしていないかの振り返りも行っています。入居期間が長くなって馴れ合いが生じないように「親しき仲にも礼儀をわきまえる」と共に、職員同士の言葉遣いにも注意しています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・ご家族との話し合いで要望や希望を伺いし思いに沿える様に努めています。 ・普段。入浴時、出来る方は、服の選択をして頂いています。 ・利用者がどんな生活をしたいか、やりたいか、行きたいかなどを伺いその想いを大切にしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・個々の体調や気分に合わせて食事時間の配慮など、出来るだけご入居様のペースを大切にしながら過ごして頂ける様に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・一人ひとりの身だしなみを心がけています。(朝洗顔、車椅子の方はホットタオルを使用し、各個人で所持しているブラシで整髪しています。) ・定期的にハンドマッサージ、訪問カット等しています。 ・その日の洋服選びもその方らしさを尊重しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・地域の方々から差し入れや畑で収穫した野菜や果物を使用し食事作りをしています。(茄子、大根、じゃが芋、イチジク、蜜柑等)又、食事の準備や片付けのお手伝いをして頂いています。 ・片づけが出来る方(下膳)はして頂いています。 ・お茶碗やお箸は各利用者様に合った食器を使用されています。	1、2階それぞれの職員が3ヶ月交替で1ヶ月分の献立を利用者の嗜好に合わせて作成しています。米は農家から発注し、生鮮食品は専門店から取り寄せ、それ以外の食品については地域のスーパー等で調達しています。地域の方々から差し入れや裏庭で栽培している四季折々の果物や野菜を活用して食事作りをしています。誕生日には本人の食べたい物を聞き、外食や出前を取り、食の楽しみにつなげて頂きます。利用者の方には食事前後のテーブル拭き等を手伝ってもらい、片づけが出来る方には下膳をしてもらっています。茶碗やお箸は利用者個々に合った食器、食具を使用しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・水分チェック表で1日あたりの摂取量を毎日確認しています。 ・一日の水分摂取量がお茶や水で摂取するのが困難な場合、好きな飲み物(ジュース等)を準備しなるべく摂取して頂いています。 ・食事摂取量が少ない方には、声掛けや、ふりかけなどなるべく召し上がられる様に行っています。 ・体調の変化など、その都度の変化に応じた支援をしています。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、口腔ケアを行っています。 ・月2回の訪問歯科があり、その都度、医師の指示の基に歯間ブラシ等使用し口腔ケアを行っています。又、拒否の強い方もおりますが、時間をずらして声掛け等を行いやって頂ける様に努めています。 ・義歯は、夜間、お預かりし消毒させていただいています。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄パターンを把握しタイミングをみて声掛けしトイレ誘導をしています。特に食後はトイレに座って頂き気持ちよく排泄が出来るように支援しています。 	排泄チェック表を基に個々の排泄パターンを把握し、表情や仕草を注意深く観察してタイミングを見計らい、声かけでトイレ誘導を行っています。極力トイレでの排泄を促すように支援していますが、体調や状況に応じてポータブルトイレを使用している方もいます。便秘対策として、毎朝のラジオ体操や主治医の指導の下腸を活発にする運動、胃腸がなるべく負担が掛からない食事作りや乳酸飲料を定期的に摂取し、食物繊維の多い食材や低残渣食等心がけています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のラジオ体操、オリジナル体操を行っています。慢性的便秘の方には、医師の指導で腸の動きを活性化が臨める体操やマッサージを行っています。 ・胃腸がなるべく負担が掛からない食事作りや乳酸飲料を定期的に摂取し、食物繊維の多い食材や低残渣食等心がけています。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調や様子をみながら声掛けをし入浴して頂いています。入浴の準備もその方に合わせてお手伝いさせて頂いています。 ・季節や行事を感じて頂ける様に菖蒲湯、蜜柑湯、ゆず湯を用意し入浴を楽しんで頂ける様に心がけています。 	週2回以上の入浴を基本として支援しています。入浴の準備もその方に合わせて支援しています。1、2階共にリフト浴を設備し、重度の方は職員2名で介助を行い、気持ち良く入浴できるよう配慮しています。また、季節を感じられる菖蒲湯や、蜜柑湯、ゆず湯等を用意し、入浴を楽しめるようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調、意思を尊重しマイペースに過ごして頂いています。寝具の洗濯、布団を干す等のチェック表を用い衛生的な寝具で心地よく眠って頂ける様に支援しています。 ・居室の温度、湿度、照明等配慮し、快適に過ごして頂ける様に支援しています。又、リビングでもソファなどでゆったりして頂いています。 ・特に冬は、風邪予防の為、居室内の保湿の為に濡れタオルをかけるなどして工夫しています。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのお薬の説明書をファイルし、効薬、副作用等確認し薬のチェックを行っています。 ・一人ひとりの配薬表を作成し、リーダーが確認し、服用して頂いています。又、薬の変更などの対応を活かしています。 ・お薬手帳の役割、管理の共通認識に努めています。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりのご希望を伺いながらどんな事に興味を持ち、個々にあった楽しみを提供できる様に心掛けています。 ・洗濯量み、お盆拭き等を役割とし、トランプ、かるた、クロスワード、歌など日々行い楽しまれています。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・他施設のイベント、地域行事(「吊るし雛」「夏祭り」)などに参加しています。 ・ご希望を伺ってお花見に行ったり、利用者それぞれの思い出の場所に向いたりしました。 ・施設の近くに有る回転寿司やファミリーレストランにお出かけし昼食をとることもあります。 	<p>天気や気候、利用者の体調を考慮しながら外気浴を兼ねて敷地内を歩いたり、ホテルの里、川上公園に散歩に行っています。他施設のイベントでは豊荘で開催される行事(「平戸吊るし雛」「夏祭り」)等に参加しています。利用者個々の希望を聞いてお花見に行ったり、利用者それぞれの思い出の場所に向いたりして出かけています。近隣の回転寿司やファミリーレストランにも出かけて昼食を取ることもあります。</p>	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の所持は基本、必要であればこちらで管理させて頂いています。本人が所持する事により不安感を軽減するのであれば、ご家族と相談し所持するか否かを決めています。 ・日用品を買いに利用者と同じ物へ行く事もあります。 ・ご家族と相談してお札の入ったお財布を常に持っている方もいらっしゃいます。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状や暑中見舞等のハガキをご家族にお届けしたり頂いたりとお交流を心がけています。 ・利用者の中で一部、携帯電話を所持し、ご家族や知人にメールや通話で会話しています。 ・クラブで季節の葉書きを作成してそれぞれのご家族に送ったりしています。ご本人の希望される時は、ご家族とお話することで、気持ちが落ち着かれる方もいます。 		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの場所が分かるように案内を大きくはっきりと表示しています。 ・春は桜、夏は朝顔、秋は紅葉、冬はクリスマスの飾り付けなど季節感の有る飾りを折り紙などを用いてなるべく手作りで創作して掲示しています。 ・運動会、お誕生日会、お茶会等の行事の写真をアレンジして掲示しています。利用者が「私も参加していたのね」「楽しかったね」など思い出が少しでも心に残り語れるように工夫しています。 	<p>キッチン是对面式になっており、職員が食事の準備や片付けをしながらでも利用者の見守りができるように環境を整えています。春は桜、夏は朝顔、秋は紅葉、冬はクリスマスの飾り付け等、季節感の有る飾りを折り紙などを用いてなるべく手作りで創作して掲示しています。運動会、お誕生日会、お茶会等の行事の写真をアレンジして掲示し、会話につなげる等工夫をしています。また、利用者が思い思いの場所で寛げるようソファを配置し、畳の部屋も設けて、個々に思い思いに居心地良く過ごせるよう配慮しています。トイレの前には棚を設置し、利用者の羞恥心に配慮しています。</p>	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・和室のソファでテレビを見られています。 ・その時々と意思でアクティビティに参加されたり、その様子をご覧になられた方、居室で過ごされる方、一人ひとりの時間を尊重しています。 		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者をご自宅で使用されていた愛着の有る家具やテレビなどを持ち込んで使って頂いています。 ・ご家族の写真や馴染みのある品物を置く事で安心して生活を送って頂ける様に心がけています。 	<p>備え付けとして、エアコン、クローゼット、ベッドを設備し、それ以外の家具や調度品については自宅で使用していた使い慣れた物や、馴染みの品を持ち込んでいただくよう配慮しています。居室には家族写真、人形、タンスなどが持ち込まれ、その人らしい空間作りがされています。</p>	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや居室など分からない為に不安になられる利用者がいます。一目でわかるように大きめの字で示しています。 ・人の動線に障害物を置かないようにしています。一つでもご自身で出来る事が継続できるように工夫しています。 		

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸（豊水）

作成日

平成31年2月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	今在籍している職員に問わず新しい職員が現場に即応した介護知識や介助方法を身に付け意識しながら自信を持って安心安全なサービスの提供が出来る様に心掛ける。	新職員が安心安全に介護が行えるように的確かつ丁寧な内部教育を行うようにする。又、指導をすすめる事で、他の職員も積み重ねてきた知識や技術を再確認しお互いに学ぶ事が出来る。	内部研修を年に数回行っているほかに、認知症高齢者の特性や介護技術等についての内容も取り入れた勉強会を実施しています。それに一人でも多くの職員が参加出来る様に声掛けしていきます。	12ヵ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	幸水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所とヘルパールームの壁に「梨の實の理念」を掲示して、皆で共有し実践する様に努めています。 ・豊かな土地を利用して裏の畑で育てた作物をご入居者だけでなく、ご家族や近隣の方々にも行事の際に召し上がって頂いています。 		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアの方々に支えられ、エレキギターの演奏・神輿くぐり・獅子舞・などを楽しまれています。 ・地域の防災訓練や盆踊りに参加しています。 		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方々も施設のお祭りに参加して頂いています。地域の老人会の皆様に毎月一度訪問をうけGHの生活の様子を見ていただき理解をして頂いています。又、地域の中学校(2校)から毎年「職業体験習」を受け入れています。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回開催し、ホームでの生活の様子を報告しています。 ・自治会長、包括支援センターの職員、民生委員、ご家族、職員が参加され、又、それぞれのご家族が顔なじみになる事で率直な意見を伺う事ができます。 		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者の相談等、区の担当の方々と連携しています。特に医療分野についてはGHの生活の実情を伝えながら、安心して生活出来るよう連絡を密にした取り組みに努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束をしないケアの実践に努めています。転倒や無断外出・外泊の危険に対しても職員間で話し合い、工夫しながら安全に安心して生活して頂ける様心がけています。 ・出入り口は施錠していますが、いつでも外に出られるように職員は鍵を携帯しています。 		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄、入浴、薬の塗布、着替え、清拭の際に身体に異変がないかの確認に努めています。異変があった時は、その時の当日職員で話し合い、原因や可能性の検証に努めています。又、利用者への声掛けや接仕方についても、会議や日々の申し送りなどでその都度話し合っています。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度(司法書士・弁護士)を活用されているご入居者が複数いらっしゃいます。後見人の方と接する事で、金銭管理や入院手続き又、施設で生活する上での様々な事について相談しながらご入居者の支援をしています。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書、利用契約書を全て説明しGHでの生活を理解していただきながらご家族の不安、疑問、要望等を伺う様、努めています。 ・一人ひとりに見合った対応が出来る様努めます。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に内部と外部の苦情相談窓口について説明しています。又、玄関に連絡窓口の記載されたものを掲示しています。 ・ご家族の面会時やケアプラン面談等、又は運営推進会議でお話しをする時間を頂きながら、随時職員に伝える事を心がけています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼や毎月の会議、日々の業務の中で意見や提案を出し合っています。日頃より、代表、管理者や主任からの声掛けをし、職員の思いを汲み取る事を心がけています。 ・職員間で自由に使える掲示板を通して共有したい気持ちを大切にしています。 		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員のライフスタイルを考慮して、曜日・日数・時間帯・時間数など個々に細かく決めてます。 ・突発的な事情による遅刻・早退・欠勤・休職等も柔軟な対応に努めています。 ・各々の希望する働き方をアンケートを取らせて頂いています。 		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の研修会として「梨の実塾」を開催しています(年2、3回)毎回アンケートをとる事で職員の興味の有る事への把握に努めています。 ・ご入居者への対応で不安な事がある時は、代表・ホーム長、副ホーム長に相談しています。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の他事業所の行事に参加し代表者、管理者、職員との交流を心掛けサービスの向上に努めています。 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前の面談の聞き取りの際、今迄の生活スタイルや環境などを把握するように努めています。 ・安全面に配慮しながら、入居者とその家族の要望を伺い、職員間で話し合っ実現できるように努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前の面談や電話で、不安に思っている事や要望を伺い、ご家族の意向の把握に努めています。 ・ご家族が気軽に話して頂けるような雰囲気作りに努めています。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時や電話でこまめに様子をお伝えしています。 入居して1ヶ月程過ぎた頃に、これからGHでどの様な時間生活を望まれているのかを話し合う時間を設けています。 ・訪問リハビリ等他サービスを希望される方にはスムーズに利用できる様ご案内しています。 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれご入居者出来る事や、やりたい事を、その体調に合わせてご本人と話し合いながら決めています。(洗濯物干し、洗濯物畳み、テーブル拭き、下膳、ゴミ出し、備品運び等) 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人が安心してGHで生活していただけるように職員だけでなく、ご家族も一緒に考えながら支援していく関係作りに努めています。 ・可能であれば通院の同行もご家族にして頂いています。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族のご都合のいい時間に面会に来て頂いています。 ・出来る限りご家族や知人の方との時間を大切に過ごして頂ける様努めています。 ・携帯電話を居室に持ち込み、自由にご家族と通話されています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ご入居者同士の関係性の把握に努めています。場合によっては席替えを行い、円滑な交流の支援しています。 日々気の合ったご入居者同士がレク等に参加できる様、声掛けをしています。 聴覚の不自由な方の関わりも職員が代弁したり、筆談で良好な関係を築けるよう努めています。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 契約終了時に「ひよどりの会」（退居されたご利用者のご家族、退職された職員、関係業者で構成）の入会を呼びかけています。引き続き、継続した関わり場を作っています。（会報や行事の参加、お手伝等々） 		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> 食事等GHで決められている時間に囚われず、ご本人に合わせた対応を心掛けています。 聞き取りが困難な場合も、ご家族と相談しながらこれまでの生活歴や現在の状況に合わせて検討しています。 趣向品やこだわりのある方にも出来る限り添えられる様に努めています。 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ご家族と相談しながら、居室に馴染みの物品（ダンス・仏壇・写真等）を置いて頂き、今までの生活環境を大切にされた暮らしをして頂ける様に努めています。 入居前や入居後にご家族から1日どのように過ごされていたか伺い、把握に努めています。 ご自宅から入られる場合は、居室でのベッドの位置関係をなるべく同じにして混乱が少なくなるように配慮しています。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 申し送りや朝礼などでご入居者の情報の把握や共有に努めています。 状況の変化のある方は、一時的に一日の状況が分かる表（状況表）を作成し、皆で共有しています。 体調管理ノートがあります。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ご家族や関係者と定期的に話し合いをしています。 状況の変化に合わせて職員間で介助方法を検討し、介護計画を作成しています。 		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の介護日誌を記録しています。又個々の状況やケースに入力しています。 状況に応じた記録に努め、その情報を基に介護計画を作成しています。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ご入居者の心身の変化に合わせて、理学療法士との連携や成年後見人制度の利用などを行っています。 福祉用具サービスの利用についても、医療関係者やご家族と話し合い、柔軟な対応を心がけています。 ご入居者に合った傾き防止用のクッション等を手作りしています。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 長い関わりのある地域の老人会のボランティアの方々との関わりから、それぞれの個性を引き出す機会を頂いています。(訪問カット、お茶会、ハンドマッサージ等) 様々な種類のボランティアの方々と過ごす事で、ご入居者の豊かな生活を支えて下さっています。 		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の希望に合わせて、かかりつけ医を決めて定期的に診察を受けています。ご家族のいらっしゃらない方は職員間や区役所の担当者と話し合い、必要な医療が受けられるように支援しています。 受診や往診時には最新の情報をお伝えし、かかりつけ医との良好な関係作りにも努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員は配属されていません。 ・訪問看護を利用されている時は、情報の共有を努めて不安な事などを相談し連携を心掛けています。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は入院された方はいらっしゃいませんが、入院された時はGHとして何が出来るかを考え、関係者と相談しながら、ご入居者が安心して退院できる様に努めています。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の意向を確認し、ご家族とかかりつけ医との話し合いの時間を作って頂いています。その中でGHとしてできることを考え、チームで支援できる様に努めています。 ・住み慣れたGHで最期を迎えさせて欲しいというご家族の希望が増えています。 		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・急変時や事故時の対応マニュアルを各フロアに置いていつでも確認できるようにしています。 ・急変時の個別の対応や連絡先は介護計画書に記載しています。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署との防災訓練だけでなく、自ら訓練を行う事で、火災や災害時の対応を身につける事に努めています。 ・備蓄倉庫を設置し、災害時での対応に備えています。 ・地域の防災訓練に参加して、地域との関係性が築けるように努めています。 ・運営推進会議には、町内会長が参加されるので地域と協力体制をとれる様、相談・助言を頂いています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いや対応について、会議、申し送り、朝礼等で話し合い、お互いが確認し合えるよう努めています。 ・職員の対応がご入居者の生活に大きく左右する事を職員自身が自覚する様に努めています。 		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロから決めることが難しい方には、いくつかの選択肢を用意して自己決定できるような声掛けに努めています。 ・言葉での自己決定が困難な方は、表情や仕草から思いを汲み取るように心がけています。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の体調や気分に合わせて食事時間の配慮など、出来るだけご入居様のペースを大切にしながら過ごして頂けるように努めています。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・その日着たい洋服などの希望を伺い、おしゃれを楽しめるようにしています。又、朝の洗顔や離床された時の整髪など日々の身だしなみに気をつけています。 ・その方の希望を伺って、訪問美容師の方のお気に入りの髪型にして頂いています。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた食材を取り入れたメニュー作りをしており、裏の畑で収穫した野菜や果物を召し上がって頂いています。(茄子、イチジク、蜜柑等) ・配達された食材と一緒に台所まで運んだり、食事前のテーブル準備や行事の際には、おやつ作りに参加して頂いたりしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・水分・排泄チェック表を記入し、一人ひとりの摂取量を把握する事で、状態に応じた支援に繋がっています。 ・その時々のご入居者の状態に合わせて食事の形状を考えながら提供しています。又、一日の水分摂取量がお茶や水で摂取するのが困難な場合、好きな飲み物(ジュース等)を準備しなるべく摂取して頂いています。 ・医師と相談し、食事にエンシュアキッドを取り入れている方もいらっしゃいます。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後の口腔ケアに努めています。磨ききれない方には職員がお手伝いしています。 ・訪問歯科で定期的な往診を受けています。医師や歯科衛生士のアドバイスで歯ブラシの他にスポンジブラシやワンタフトブラシで対応しています。 ・定期的な往診以外にも状況によってその都度診て頂いています。 ・義歯は夜間預かり、入れ歯洗浄剤で消毒しています。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの排泄パターンを把握した上での声掛け誘導を心がけています。(排泄チェック表を用いて毎日の状態を職員が共有しています。) ・立位の難しい方にも希望や体調に合わせて、トイレでの排泄支援に努めています。 		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のラジオ体操や手足の体操の他に、散歩やアクティビティなどで身体を動かす事を心がけています。 ・適量の水分摂取や胃腸に負担のかかりづらい食事作りに努めています。 ・牛乳やヨーグルト、オリーブオイルなど取り入れて薬だけに頼らない排泄支援に努めています。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの状態を把握し安心して入浴を楽しむ事が出来るように、入浴の方法(一般浴、シャワー浴、リフト浴、清拭)をその都度考えています。 ・季節に合った入浴(菖蒲湯、みかん湯、ゆず湯など)を楽しんで頂いています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 廊下にベンチを置いて、一人の時間を過ごせる空間を作っています。 安心して休めるように、居室の整理整頓、清掃、寝具類の洗濯などの衛生面に気をつけています。 無理強いするのではなく、自然に休めるように心を配っています。又、ご本人様に合わせて日中も適度な休息を促しています。 		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 効能を記入した配薬表や、薬局より頂いた薬の説明書きで内容を把握するように努めています。 服薬担当者を中心に、その日の職員で確認しながら服薬支援に努めています。 薬の期限表を作成し、ご入居者の薬の期限が一目で分かるようにしています。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 居室の掃除や洗濯物干し、洗濯物畳みなど一人ひとりの張り合いや喜びにつながる事を一緒に見つけて関わって頂いています。 1日3回の喫煙の時間が楽しまわれているご入居者がいらっしゃいます。喫煙の際火は職員が管理しています。 体操・トランプ・歌・将棋・散歩など、ご入居者の楽しみを1日の中に取り入れています。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 裏の畑の収穫した採りたてのみかん等を一緒に頂いています。 ボランティアの方々と、徒歩や車椅子で近隣に散歩に出掛けています。 天気の良い日には外で体操したり、庭や近隣に咲いている花を見て、季節を感じて頂いています。 起案を立てて、天気と体調に合わせて数名ずつ外出する機会を作っています。ドライブに行ったり、買い物や外食に出掛けたりしています。 		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 職員と一緒に近隣のコンビニにおやつを買いに出掛けたり、洋服や日用品を車で買いに行ったりしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご自身で携帯をお持ちで、ご家族からのメールを受け取っている方がいらっしゃいます。こちらで携帯電話の充電の支援をしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・床暖房や空調管理の他、換気や濡れタオルを掛けることによって風邪の予防をしたり、不快感がないように気をつけています。 ・テレビの音や外からの太陽光が不快にならないように、音量やカーテンで調整しています。 ・その季節に合った花を生けて頂いたり、手作りの飾り物をしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・和室のソファに座ってテレビ鑑賞をして、ゆったりと過ごされています。 ・ご入居者同士の関係性に配慮した座を考慮していますが、レクを楽しまれる時は、自由に思い思いの席に移動して過ごされています。 ・廊下にベンチを置いて、一人で落ち着ける空間を作っています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご本人やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や物品を居室に置いています。配置については、ご入居者のその時の状態に合わせて変更しています。 ・ご本人の希望により仏壇や遺骨を持ち込まれる方もいらっしゃいます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・トイレや居室の扉に文字を掲示したり、廊下に矢印を書いて分かりやすいようにしています。 ・夜間に一人でトイレに行かれるように、夜間の照明に気をつけています。		

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸(幸水)

作成日

平成31年2月25日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	独自でも消防訓練を実施を行っているが、年に数回、日々の常務の中で当日出勤の職員で行われている為、参加できない職員も多い。	どの職員でも災害時の対応ができる。	月に数回、日にちを決め、申し送りの際に火災時や地震時の誘導方法の確認、消火器やライトなどの保管場所の確認を行う。	1 2 ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。